

さくらに木

(題名は校歌より)

さいたま市立宮前小学校

学校教育目標

- ・本気で勉強しよう
- ・心をみがき、体をきたえよう
- ・人のためになろう

在籍児童数663名 学級数25

子の健やかな成長を願う

校長 あさだ しゅんすけ 浅田 俊哉

早いもので、令和7年度も最終月となります。今週末、日本付近は暖かな空気に覆われやすく、20℃前後と春を思わせる暖かさになる所もある見込みだということですが、来週には寒の戻りがあり、全国的に気温は下がる予報です。気温差、気圧差がある時期は、体調を崩しやすくなります。お子さまには、早寝早起き朝ごはん、栄養のバランスのとれた食事と十分な睡眠でこの気候が周期変化を続ける3月を健康に過ごしてほしいと思います。

五節句〔人日(1月7日)、上巳(3月3日)、端午(5月5日)、七夕(7月7日)、重陽(9月9日)〕は季節の節目を祝う日本の伝統行事ですが、そのうちの一つ、3月3日の節句は桃の節句とも呼ばれ、ひな祭りとして祝われているため、親しみを感じる方も多いでしょう。ご存じのとおり、ひな祭りは女の子の健やかな成長を願い祝う行事です。お祝いの食事として、ちらし寿司、ハマグリのお吸い物、ひなあられといった食事でお祝いすることが多いようで、菱餅や白酒は飾ってあるお雛さまにお供えしてからいただくそうです。雛人形は、立春を過ぎたあたりから飾り始め、3月3日を過ぎたら早々にしまうようにするそうですが、我が家はいつも機を逃します。端午の節句と併せて、子どもの健康と健やかな成長を祈り願う日本の伝統行事を大切にしていきたいものです。

さて、4年生を皮切りに、今年度最後の授業参観、そして懇談会が始まりました。子の成長を願う親の期待に応えて、お子さんたちはこの宮前小での学校生活を通して、それぞれのペースで、確実に成長しています。昨年度末の又は今年度最初の授業参観等でのお子さんの活動の様子を思い起こし、比べてみてください。できるようになったこと、いろいろな友達と関わりをもてるようになったこと、ものの見方が広がったことなど、テストの点数だけでは評価できない一人ひとりのお子さんの成長がそこにあると思います。入学当初、登校した朝、ランドセルを机の上において、きょろきょろしながら椅子に座っていた1年生も、今では、担任の指示を最後まで聴き、自分で考えて、また、お友達と声を掛け合って活動する姿がたくさん見られ、大きく成長したなど実感します。6年生は、3月は最後の15日間となりますが、6年前、大きなランドセルに背負わされながら迎えた入学式の日を思い起こすと、毎年の卒業式では、進行・形式に沿って、自分の役割を理解しながら、証書を受け取ったり、別れの言葉を言ったり、歌を歌ったりする姿を見る保護者の皆さんが、本当によく成長してくれた、大きく育ってくれたと感激の涙を流す場面をたくさん見かけます。どの学年のお子さんも、お父さんに、お母さんに認めてもらい、褒めてもらえるのが一番うれしいものです。どうぞたくさん褒めてあげて、お子さんが充実感をもって今年度を終えられるように、また、来年度の自分に期待感をもって臨めるようにしていただけたらと思います。

最後に、保護者の方々、地域の方々には、本年度も本校の教育活動にご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。